



国労石川

国鉄労働組合 石川県支部
発行人 佐藤 貢
編集人 後藤通広
2024年3月4日 27-NO.8

2024 春闘

17,000円の賃上げを!

3.14 西日本総行動に総決起を!

経済の先進国で、20年間にわたり賃金が上がらない国は日本だけです。昨年改定された最低賃金は、全国の加重平均1004円で、アメリカ・カルフォルニア州のファーストフードの最賃は時給20ドルで、日本円で3000円、ヨーロッパでも同じような状況で、格差は広がっています。

日本では、実質賃金が10年間で年間24万円も減少し、1996年のピーク時から64万円も減少しています。また、非正規労働者が20年間で1.5倍に増大し、4割が非正規労働者になりました。日本経済の長期にわたる停滞により、生活困難者は増えています。相次ぐ物価高騰や、ウクライナ侵略やパレスチナ紛争によりガソリンや食糧の価格が上昇し、家計を圧迫しています。税金や社会保障でも、消費税の導入と税率の引き上げにより、個人消費は落ち込み、経済は停滞しました。

一方で、大企業、富裕層への減税・優遇税制は拡大され大企業の内部留保は、この10年でおよそ180兆円も増え、510兆円に拡大しています。

今春闘では、大幅賃上げや労働者を大切にす働き方改革を実現し、消費税減税と社会保障を充実させることが求められています。

石川県支部は、2月24日、第27回拡大支部委員会を開催し、17000円の賃上げ獲得をはじめ、労働条件の改善、組織強化・拡大、公共交通再生など当面する闘いに全力を上げることを意思統一しました。とりわけ、3.14西日本エリア総行動は、全組合員が行動に参加し、春闘勝利に向け奮闘しよう。

石川県支部統一行動

3月14日

1. 金沢駅西口前宣伝行動 7時30分
2. 地域宣伝行動
3. 全員集会

全組合員の参加をお願いします。

